

お客様紹介

島根日産自動車株式会社
雲南営業所

様

〒690-2404
島根県雲南市三刀屋町三刀屋43-2
TEL 0854-45-0230
FAX 0854-45-2278
URL: <http://www.shimane-nissan.co.jp>



新店舗はきれいになって入りやすいと好評です。
写真左より、板垣様、羽根田様。

それは、地域住民の方に開放できる大型会議室を設けたことです。各種カルチャー教室、展示会、子供会等に提供する予定です。お客様の中には2世代から3世代にわたる方もおられ、大変ありがたいことです。地域の皆様に幅広く当店に親しんでいただきたいと思えます。

「当地雲南市も少子高齢化が進むところです。今後、高齢化が進んでいくと自動車を保有できない状態になります。今以上に女性ユーザーが増えると予想され、女性の方に好かれる店づくりや車づくりをしなければと思います。比較的求めやすい軽自動車は、室内空間が広くなり、使い勝手がいい仕様になっています。駐車スペースも小さく、値段も手ごろです。当店では、各種車輦を展示し、落ち着いてくつろげる環境をご提供します。是非、ご来店いただき実感してみてください」と、甲斐所長から力強い言葉をいただきました。

(聞き手長野)

「新型機種が導入され、作業効率が大幅にアップしました。きれいな状態を維持していきたいです。車輦点検整備の様子は、カスタマーラウンジからご覧いただけます。」

サービススタッフの皆様、写真左より、柳楽工場長、難波様、野津様、片石様、福島様、川島様。



陽光がいっぱい差し込む素敵なショールームです。

今までなかったワクワクを

昨年11月、新店舗として、移転オープンしました。「ホテルみたい」「広々してきれい」と、お客様から大評判です。

オープンイベントでは、ショールームがいっぱいになるほどのお客様が来店され、うれしい悲鳴でした。

地域に貢献し、地域に愛される店舗

新店舗は、地域に貢献し、地域に愛され支持される店舗を目指しています。



再生重油とバイオ再生重油の JIS規格制定される

「再生重油（JIS K2170）」及び「バイオ再生重油（JIS K 2171）」のJIS（日本工業規格）が2013年12月20日付で制定されました。

再生重油とは、使用済み潤滑油を原料として、バイオ再生重油とは、使用済み潤滑油と使用済み食用油を原料として製造された燃料油です。両規格を決めるに当たり、関係部門による長期間にわたる様々な検討が行われました。

再生重油は平成11年度から、バイオ再生重油は平成16年度からJIS化のための調査研究が行われましたが、そこで山陰興業さんが果たされた役割を抜きにして両規格を語るわけにはいきません。

自社による実験装置の組み立て、混合・攪拌実験、貯蔵安定性実験、燃焼実験等々に基づいたひとつひとつの貴重なデータが裏付けとなり、JISの信頼性を高めています。両規格の企画・立案から関与していたものとしては感謝の念で一杯です。

(全国オイルリサイクル協同組合 岡本様より)

変わらないもの

正月のテレビ番組で「なるほど」と感じた番組がありました。コピーライターの糸井重里氏がコメンテーターで出ていた、「久米宏のニッポン百年物語、人生相談にみる日本人」という番組でした。

「人生相談」から日本の家族の姿が見えてくるというテーマで、日本人は何に悩み、何を考えてきたのか、過去に寄せられた人生相談を「妻・母の悩み」「夫・父の悩み」「娘・息子の悩み」「高齢者の悩み」で分け、それぞれの悩みとその回答を元にディスカッションするものでした。

「人生相談の誕生物語」や「人生相談で人生が変わった人」などのドキュメントVTR等もあり、悩みもその時代や世代によって変わってきていることがよく分かりました。

番組の最後、司会者から「100年後、日本人はどんな悩みを抱えているでしょうか」との問いかけに糸井氏の答えは、「好きな人に、どうすれば好きになってもらえるか、ですかね」との答え。世の中がどれだけ大きく変わっても、人間の本质はいつになっても変わらないということか！なるほど。

(安原)

鳥取営業所～information～



昨年、寒冷期に、井戸用ポンプが凍結し、動かなくなりました。再稼働させるのに、呼び水をしたりして大変な思いをしました。今冬、凍結対策として、木の枠を取付て全体を覆い、冷気が直接あたらないようにしました。これで給水の心配がなくなればと思います。

元気の出る言葉

中村天風師

有意義な幸福な人生に生きるために大切なこと
一、他人に好かれること。思いやりをもって、
真心で親切に應對する。
二、他人に迷惑を絶対にかけない。
三、他人から受けた恩義は、心からの感謝で報いる
つねにおおらかな気持ちで、自分の人生を心の
持ち方できつくり替えていくようにする。
「謙虚」な気持ちで、「感謝」の念をもってことに
あたりたい。
(長野)



「びわの花」春から初夏に実を付けますが、花は今頃です。

社長が薦める今月の一冊

糖質オフ！健康法

江部康二著 PHP文庫



- ・**いいこと1** いっぱい食べてもスルッとやせる！
- ・**いいこと2** お酒を楽しみつつ健康を維持できる！
- ・**いいこと3** 運動をしなくても体脂肪が減る！ などなど。



ストレスなしで減量ができるという趣旨に、興味を持ちました。そこで私の朝食は、茶碗一杯だけご飯。昼食は例えばマーケットで惣菜を好きなだけ盛る。ご飯の代わりに大盛りの生野菜にゴマドレをかけるか、豆腐をムシャムシャ食べる。それらの白い色がご飯の白い色を連想して、ストレスが少ない。

外食のときは、例えば牛丼のすき家でヘルシー牛丼を食べる。丼のなかにあたたかい豆腐とレタス。その上に牛肉がたっぷりのせてあり、普通の牛丼と変わりなく食べられる。そして晩酌はもっぱら焼酎のお湯割り気兼ねなく。

こんな工夫をすれば、江部先生は「若さをとり戻す！」効果で、「老眼が進行しなくなった。62歳の今も裸眼で『広辞苑』の細かい字が読める視力をキープしている」とおっしゃっています。

私は、江部先生を信じて糖質オフ健康法を続け、いつまでも青春でいたい。

(山根)

編集後記

松江地方で冬場の漬物といえば、津田かぶ漬。柔らかく独特の甘味が熱々のご飯によくあいます。津田かぶは、松江藩初代松平直政の時代に、近江の国（滋賀県）から伝来し、津田村で栽培が始まったそうです。形は勾玉（まがたま）状に湾曲し、地上部表皮が紫紅色をしています。この津田かぶを干してぬか漬けにしたものが特に美味しいです。

初冬、漬物用にはで干しされた津田かぶの紫紅色は遠くからみても色鮮やかで、圧巻です。きっと美味しい漬物になっていくのでしょう。漬物以外にも、生で酢の物にしても美味しくいただくことが出来ます。

(長野)

「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。本代は¥1,890です。

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に、津田かぶ漬を差し上げます。クイズの締切は1月末です。奮ってご応募下さい。

Q：山陰両県の新成人は、島根・鳥取それぞれ何人でしょう？



先月号の答は、「今でしょ、倍返し、じえじええ、おもてなし」でした。三次市高橋様、琴浦町大黒様、出雲市出川様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着情報

- ・**選ばれる理由：どうしても売上が増えなくなる心理マーケティング** 武井則夫 現代書林 日本経営合理化協会 牟田様より寄贈賜りました。
- ・**人間にとって成熟とは何か** 曾野綾子 幻冬舎
- ・**小さな会社を強くする ブランドづくりの教科書** 岩崎邦彦 日本経済新聞出版社
- ・**出光佐三の日本人にかえれ** 北尾吉孝 あさ出版
- ・**ゼロから3年で100億円企業を作った男のガムシャラ仕事術** 森平茂生 総合法令出版

発行日：毎月10日
発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail : h.nagano@e-skk.co.jp

印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

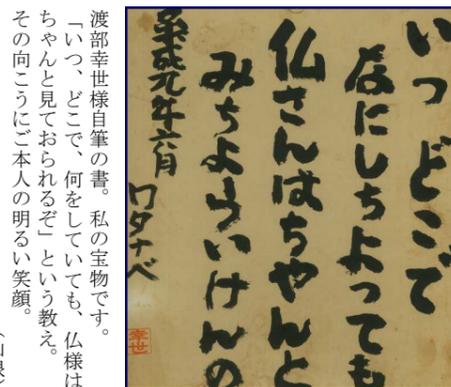
山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部へ遠慮無くお申し付け下さいませ。



輝かしい偉業は私たちの誇り



渡部幸世様自筆の書。私の宝物です。いつ、どこで、何をしても、仏様はちゃんと見ておられるぞ」という教え。その向こうに「ご本人の明るい笑顔。」

(山根)

昨年亡くなられた、渡部幸世様(元 島根県会議員、(株)イズカ会長)をしのぶ会が12月5日に開催されました。渡部幸世様の功績は言葉では言い尽くせないほどであり、今回ご参集いただいたかたがたにその思い出を語っていただきました。本会のもとになる、しまね化学資源技術懇話会も渡部幸世様の指揮により、約20年前に発足し、その後もみじの会に名称を変えて現在に至っています。

父の思い出

渡部幸世という人物を一言で表現するならば、バイタリティーに溢れ、常に元気で笑顔で何事にも取り組む人ではなかったでしょう。

そういう父も、母と祖母が続けて亡くなった際は、さぞかし無念だった事と思いますが、人前ではつとめて気丈に振舞っている姿を見ると掛ける言葉も有りませんでした。

十数年前からは父本人も病気との闘いでした。特に入院してからは多くの皆様から励ましの言葉を賜り、病院の先生には献身的な治療を頂きましたが、その甲斐もなく八十八年の人生に幕を下ろしました。

奇しくも、葬儀を行わせて頂いた11月17日は、父が創業した出雲化学肥料株式会社(現 株式会社イズカ)の設立記念日であり、最後まで自分の意志を貫いてくれました。

今後は、私も浅学非才弱者ではありますが、父が賜りましたご厚誼に対して、少しでも御恩返しが出来よう精進いたす所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻を頂きますよう宜しくお願い致します。感謝。

((株)イズカ副会長 渡部様より)

リーダーシップの大切さ

しまね化学資源技術懇話会(後にN S (New strategy)研究会と改名)は、県内の化学資源関連企業と産業技術センター研究員で結成された技術交流会で、全国異業種交流会への参加、国の研究機関や先端的企業見学、また会員企業が共同で新商品を開発する等多くの実績を残しました。

渡部会長の提案による「ゼオライト入り和紙」や会員企業8社が共同で商品化された精製ゼオライト(商品名 オクタゼオ)がその一例です。

この会が、結成以来約20年間も活動出来たのは、渡部会長の人を惹きつける魅力、一緒にいると何となく人を楽しませる力、そして「和」を非常に大事にした人柄によると思います。

「しのぶ会」で、渡部会長から改めてリーダーシップの大切さを教わったような気がします。

(しまね産業振興財団 酒井様より)



他人(ひと)に好かれる人になる

・周りから、お客さまから素晴らしいと言われる社員と会社になる・

社長 山根久志

中村天風師は、名著「君に成功を贈る」の冒頭、こう説いておられます。

人間として生まれた以上は、なにをおいても第一番に、「有意義な幸福な人生に生きたい」と誰もが願うでしょう。そのためには、なにをおいても、かにおいても、一番先に必要なことは、

「他人（ひと）に好かれる人間にならなければならない」

ということであります。なんでもないことのようにですが、これが、もう人生の一番の根本基礎なんであります。

ですから、自分で、「他人に好かれる人間になろう」と努力すること。

自分自身があまり好き嫌いが激しいと、自分もまた、やはり他人から好き嫌いに扱われます。常に嫌いだと思う相手には、つとめて親切にし、やさしくするような気持ちに自分を仕向ける。

どんな場合にも「真心（まごころ）の親切」をもって他人に接することです。自分のことをするときと同じ気持ちで他人のことをしてあげればいいんです。

さあみなさん、今日から自分をどんどん研（と）ぎあげていきなさい。これが有意義な幸福な人生をつくるゴールデン・キーなのであります。

（本文 幸福な人生をつくる P1～P36より抜粋）

天風師の説かれる「他人に好かれる」の「他人（ひと）」とは、まず当然のことに家族・友人であります。

そしてビジネスの世界で考えれば、「同僚から好かれ」、心合わせて一つの仕事をすれば、同僚は自分の弱みを補ってくれます。そして一人ひとり個別の仕事を加えたものよりはるかに大きい、相乗効果（そうじょうこうか）が生まれます。

（注：ふたつを掛け合わせたくらいの大きい効果）

「お客さまに好かれる」とどうなるか？「安いから買ってもらう」ではなく、「君だから買ってあげる」「君からしか買わない」と言って、貴方をを指名していただける。

つまりお客さまから好かれるとは、価格やライバルを超えて、貴方に大きい価値を見出し、取引をしたいと言っていたただけに繋がります。

さあ、他人（ひと）に好かれる人になろう！

私はこう考え、こう実行します

【安原】まず自分が他人を好きになることから始める。

【松下】お客さまとの出会いもご縁と思い、一人一人のお客さまとの関係を大切にします。

【河上】困ったに対して一つずつ確実に解決する。

【岸本】他人に好かれるように自分から積極的に声を掛け、コミュニケーションをとります。

【山口】私はお客さまに好きになってもらえるように常に元氣よく訪問します。

【大國】思いやりを持って人と接する。

【吾郷】他人（ひと）から名前を呼んでもらえる関係をつくる！

【木村】仲良くする。

【榎並】既存のお客さまへ提案をしていないサービスを提供します。

【木村憲】「他人に好かれる人になる」

【高橋】私は、目的を常に捉えて、慎重に行動します。

【岡田】他人に好かれるように自分も好き嫌いしません。

【松本】嫌いなことでも自分から進んで作業します。

【長谷川】お客様から何でもいっていただけるような収集マンを目指します。

【植尾】まずは人に好かれることを自分なりに探す。

【恩村】まず、自分が好きになれる自分になります。

【小村】他人（ひと）に優しく自分に厳しくをモットーにして他人に好かれるよう努力する。

【藤原】お客様に安心していただける廃油タンクを作り、配達します。

【藤原大】もっと人の行動を考え、実行していきます。

【金森】他人から好かれる人間になります。

【安達】人に好かれるため、先ず好きになることから始める。

【田中】今年は自分磨きを目標に、精進します。

【野々村】新しい年を迎え、氣を引き締め頑張ります。

【宮北】信頼を持ってもらえるように素直な心で接します。

【石橋】客先では大きい声で挨拶をして自分を覚えてもらう。

【清水】私は周りの人から好かれる人になります。

【中村】現場にて、整理、整頓、清潔、清掃、安全(KY)を徹底し、安全作業ができるように常にチェックして、作業を行います。

【足立】私は、お客さまのため、他人のため、思いやりの気持を持って対応します。

【藤田】どんな時も親切な対応を心掛け信頼される人になります。

【長野】お客様にもっと注目されるエコス通信を目指します。

NHKの取材を受けました

12月20日に再生重油とバイオ再生重油がJIS（日本工業規格）に制定されました。この規格を制定するにあたり、弊社は当初から協力をさせていただき、製造する技術を確認することができました。製造の要となる「混合技術」は、以前行ったエマルジョン燃料を研究開発した時の技術を応用した成果です。

このたび、バイオ再生重油という新しい燃料にNHK松江放送局が注目され、取材を受けることになりました。

NHK松江放送局田中ディレクターからは、「使用済み天ぷら油が、再び燃料として有効利用されることは素晴らしいと思う。山陰興業のエマルジョン燃料の応用で、このたび、バイオ再生重油というこれまでにない新しいものができ、また、JIS化されたことによって、品質を保証した製品をお客様に届けることができるようになり、安心して使ってもらえると思う。」

取材を受けた高橋社員は次のように締めくくりました。「このたびの取材で、まず興味をもっていただき、とてもうれしかった。私たちが

目指す社会性豊かな取り組みに、公共性のあるメディアが取り上げたことは非常に大きく、広く地域の方に知ってもらうことができる機会に恵まれた。今後、バイオ再生重油推進の励みになると思う。」（聞き手：長野）



上記写真は高橋社員がバイオ再生重油を作ったところです。下写真は、山根社長が説明しています。視聴者の皆様にわかりやすく……

*放映は、1月14日18時10分から19時までのニュースの中と1月15日7時45分から8時までのニュースの中の4分です。

福間さん、お疲れ様でした

12月20日をもって、福間さんが退職となりました。

約12年間、エネルギーサポート事業部において、収集・処理・KYS業務に携わっていただきました。これからは、山口・大国・吾郷リーダーが各プロジェクトを引き継いでいきます。

街で出会ったときは声を掛けてくださいね。新天地での活躍を祈ります。お元気で。



福間さん（写真左）と長谷川社員

「折れない心をつくる」 （植西聰著）を読んで



「負のスパイルから抜け出せる考え方」

ポジティブに考えてもどうしても解決できない問題というのは、存在します。その一つが、相手が存在する問題です。例えば、仕事でも「他業者にお客様をとられた！」

その場合は、ポジティブに考えて、何の対策も打たないという方法より、「もしかしたら、お客さまは何か私に対して不満を持っておられるかもしれない」と考えて、対策を立て、改善をはかっていく。

「こうしたら、お客様に喜んでいただけるだろう。こうしたら、私の方に声を掛けていただけるだろう……」などと考え行動していくと、仕事が楽しくなると思う。

これからも私のファンを増やし、「あなたでないとダメ」といわれるよう、お客様との信頼関係を築き、深めていきたい。（長谷川）